

岡山市RAGシステム提供業務委託に関する  
質問及び回答

No.	質問	回答
1	■ 3. 業務の概要（9）セキュリティ要件④ 提案者はクラウドサービスの代理店でありISO/IEC27017を取得していないが、提供するクラウドサービスが取得していれば参加は可能か。	RAGシステム開発事業者が、クラウドサービスプロバイダとしてRAGシステムのクラウドサービス提供に関するISO/IEC27017を取得しており、代理店がそのクラウドサービスを岡山市に提供する場合は、代理店の参加が可能です。
2	■ 3. 業務の概要（13）伴走支援/運用サポート③ 貴庁管理者は電話での問い合わせ可能で、一般ユーザーはメール、フォームなどのツールで問い合わせを受ける場合、仕様を満たしているか。	質問にある問合せの受付方法については、仕様を満たしています。ただし、ツールの操作性や回答までの目安時間、通信の暗号化やデータ管理等のセキュリティも考慮する必要がありますので、具体的な内容については協議のうえ決定します。
3	■ 3. 業務の概要（2）ユースケース 提案するシステムでは、学習用ファイルにLLMを登録するのではなく、ユーザーが自由にRAGデータフォルダとLLMを選択する方法、あるいはRAGデータフォルダやLLMを指定できるプロンプトテンプレートを使用する方法でも差し支えないか。	仕様書案の当該部分について、「LLMは、予めRAGシステムに登録した学習用ファイルを参照して回答を生成する」ということを示していますので、質問の内容で差し支えありません。
4	■ 3. 業務の概要（9）セキュリティ要件④ ISO27017認証について令和7年度中の取得を予定し対応中だが、要件適格となるか。	企画競争参加申請書等の提出期限である令和8年2月9日正午までに、ISO27017認証を取得し、岡山市政策局政策部デジタル推進課に企画競争参加申請書等の提出を完了している必要があります。
5	■ 3. 業務の概要（11）RAGシステム管理機能① ユーザー情報の出力はCSV形式のファイルだが差し支えないか。	CSV形式のファイルでも差し支えありません。
6	■ 3. 業務の概要（12）RAGシステムの機能① 生成AIの技術特性上、確率的に一般知識が回答に混入する可能性を0%にすることは困難なため、本要件の到達目標を「回答生成の制御を行い、実用上可能な限り一般知識を排除する」と認識して差し支えないか。	その認識で差し支えありません。ただし、「可能な限り」の程度については、委託者と入念に協議して決定することとします。
7	■ 3. 業務の概要（12）RAGシステムの機能⑦ 学習用データについて、契約により利用できる数量が定められており、総ストレージ容量の制限を設けていない場合に代替案として提案可能か。また、学習用データは1ファイルあたり10MB程度を想定とあるが、1ファイルあたりの学習用データ容量上限がその5倍程度の場合、代替案として提案可能か。	質問の内容では仕様を満たしていないため、代替案の提案として受け付けることはできません。
8	■ 10. 特記事項（1）再委託 本業務において、貴市への事前承認が必要となる再委託の範囲を教えてください。	再委託の範囲は、仕様書案の内容を実現するために受託者が行う業務全般が対象になります。再委託の具体的な内容については、最適提案者との仕様調整等の中で確認します。
9	■ 企画提案書（様式3） 各項目が1ページに収まらない場合、ページを複製しても差し支えないか。	ページを複製して差し支えありません。

No.	質問	回答
10	<p>■ 3. 業務の概要（12）RAGシステムの機能①</p> <p>基本的にはRAG登録データを参照して回答を生成することになるが、複数のLLMとの連携を行うサービスの仕様のため、プロンプト指示の出し方によっては、ハルシネーションと言われる現象や一般的なデータから生成しないように完全に制限することが難しい。回答精度向上への取組みと同様に可能な限り対応していくという考え方で問題ないか。</p>	<p>運用上、可能な限り一般的な知識から回答を生成しないようにする対応とし、「可能な限り」の程度については、委託者と入念に協議して決定することであれば問題ありません。</p>
11	<p>■ 10. 特記事項（1）再委託</p> <p>回答精度を上げるための方法（業務）において、一部の業務を再々委託することは可能か。またはコンソーシアム(共同提案)によるプロポーザル参加は可能か。</p>	<p>仕様書案に記載のとおり、岡山市RAGシステム提供業務委託では再々委託を認めていません。また、岡山市RAGシステム提供業務委託に係る企画競争実施の公示において、「3. 参加資格」にコンソーシアムによる参加条件を含めていないため、コンソーシアムは参加できません。</p>
12	<p>■ 3. 業務の概要（9）セキュリティ要件④</p> <p>受託者はISO/IEC27017の認証を受けているクラウドサービスを提供するという認識でよいか。</p>	<p>RAGシステム開発事業者が、クラウドサービスプロバイダとしてRAGシステムのクラウドサービス提供に関するISO/IEC27017を取得しており、受託者がそのクラウドサービスを岡山市に提供することであれば、認識のとおりです。</p>
13	<p>■ 3. 業務の概要（9）セキュリティ要件①</p> <p>「国内リージョン」であることについて、RAGデータを格納するストレージは国内リージョンを利用する（LLMは海外リージョンを利用する可能性あり。ただしプロンプトはAI学習に利用されない。）という構成は問題ないか。</p>	<p>仕様書案に記載のとおり、LLMは国内リージョンであることが要件になります。</p>